

必ずおさえておきたい！ 「避難」に関する3ステップ

① 避難準備（要援護者避難）情報

人的被害の発生する危険性が高まった状況

避難に時間を要する高齢者などの要援護者やその支援者は避難をはじめてください

② 避難勧告

人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況

すべての住民は指定された場所に避難してください

③ 避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況

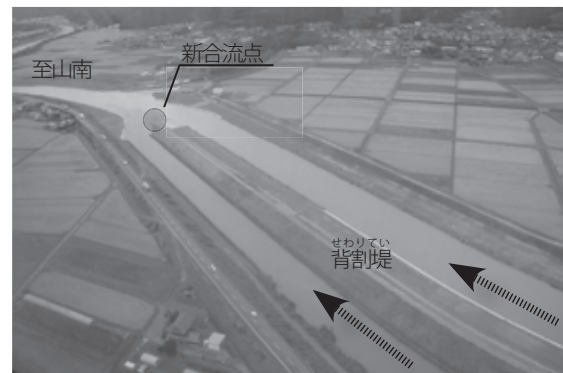
すべての住民は指定された場所にただちに避難してください

◇避難に関する情報は、防災行政無線・市ホームページ・テレビ・ラジオなどで確認してください。

高谷川の浸水対策事業「背割堤」が完成

市内の中心市街地に位置する高谷川流域は、「氷上回廊」と呼ばれ、播磨灘と若狭湾を結ぶ低地帯に位置しています。その上流域には、本州で最も低い中央分水嶺があり、高低差の低い地形を形成しています。平成16年の台風23号では、加古川本川と高谷川の流出量のピークが重なり洪水が発生。本川から支川への逆流を防ぐ役割を担う樋門の閉鎖時間が長くなり、家屋への甚大な浸水被害が発生しました。

兵庫県では、加古川本川から高谷川への背水の影響を軽減するために、加古川と柏原川（高谷川の合流先）の合流部に背割堤を設置しました。



上空からみた背割堤（9月3日撮影）。背割堤によって加古川と柏原川の合流地点が下流に下げられています

合流点を下流に移動させることで、合流地点の水位を下げる効果が見込まれ、家屋の浸水被害が軽減されることが期待されています。



平成23年台風第12号による被害（和歌山県那智勝浦町）※特別警報に相当する事例

特別警報が出た場合は、数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や市町村から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

また、特別警報が発表されないからといって災害が発生しないということではありません。従来の警報はこれまでと変わりなく、重大な災害のおそれがあるときに発表しますので、十分な警戒が必要です。

「特別警報」が発表されたら、ただちに身を守るために行動してください。

気象庁 特別警報

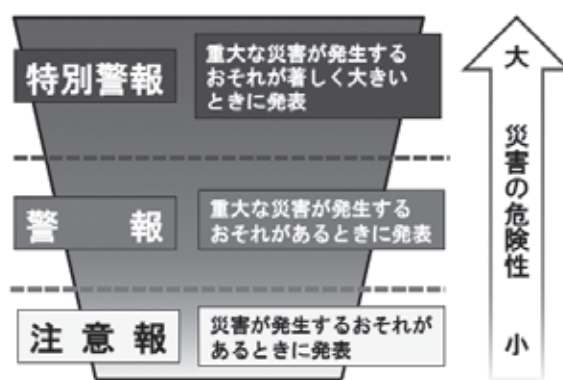
検索

8月30日 運用開始 『特別警報』

気象庁はこれまで、大雨、地震、津波、高潮などにより、重大な災害が起こる恐れがあるときに、警報を発表して警戒を呼びかけてきました。

8月30日以降は、これに加え、この警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼びかけます。

▶ 特別警報のイメージ



加古川水系高谷川 床上浸水対策特別緊急事業 せわりてい 背割堤が完成 しました

背割堤とは…

2つの河川が合流したり、隣あって流れたりすることにより、一方の川がほかの河川に影響を及ぼさないように2つの川の間に設ける堤防のことをいいます。

